



## 出演者紹介



### ヴィタリ・ユシュマノフ (バリトン)

サンクトペテルブルク（ロシア）生まれ。メンデルスゾーン・バルトルディ音楽演劇大学を卒業。『歌の翼に』（フロレスタン）、『Parole d'amore～愛の言葉』（オクタヴィア）をリリース。びわ湖ホールオペラ「ラインの黄金」、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 2017、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、サントリー大ホールでの「第2回オペラ歌手紅白対抗歌合戦」、「東京・春・音楽祭」などに出演。2018年6月オペラ「イオランタ」（サントリーホール、演奏会形式）に出演予定。2019年1月～2月オペラ「ドン・ジョヴァンニ」（井上道義指揮、森山開次演出、全国4公演）の主演に決定。トスティ歌曲コンクール 2015 第1位及び特別賞、第14回東京音楽コンクール声楽部門第2位、第52回日伊声楽コンクール第1位及び最優秀歌曲賞受賞。

オフィシャルウェブサイト：<http://www.vitalyyushmanov.com>



©Shigeto Imura

### 田中正也 (ピアノ)

15歳で単身ロシアへ。モスクワ音楽院卒業後ローム・ミュージック・ファンデーションより奨学金を得て同大学院修了。ネルセシアン、ヴォスクレセンスキーの両氏に師事。在学中ポーランドが誇るショパンの権威スメンジャンカ女史のもとでも研鑽を重ねる。カントウ国際ピアノコンクール第1位・リスト特別賞他多数の国際ピアノコンクールで受賞。サンクトペテルブルグ・カペラ交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団などと協演。「田中正也プロコフィエフピアノ曲全曲演奏会」から「魔法のピアノ」楽しいおしゃべりコンサート」まで、確固たるロシア・ピアノリズムのもと繊細かつ大胆なピアニストとして国内外で多彩なプログラムでの演奏活動。CD録音も精力的に行い「レコード芸術」特選盤など高評を得る。日本・ロシア音楽家協会会員。日本演奏連盟会員。大阪芸術大学演奏学科講師。

オフィシャルウェブサイト：<http://www.masayatanaka.jp>

### イワノフカ少年少女アンサンブル



ロシア・アムール州イワノフカ村にはイワノフカ地区芸術学校があります。これは文化分野の補習校という位置づけの公立自治補習教育機関です。1965年に創立され、当初は楽器演奏のみだったことから音楽学校と名付けられていました。2001年になり、芸術部（絵画・造形）、舞踊部が新設されました。授業は日曜日を除く毎日行われています。全体の教師数は8名、生徒の数は110名です。

民族楽器のクラスではアコーディオン、バヤンの他、バラライカ、ドムラ、ロシュカリ（木製スプーン）などの民族楽器を習っています。ロシュカリのアンサンブル《ファンタジジョーリ（ファンタジスト）》と民族楽器アンサンブル《ザバーヴァ（アミューズメント）》が誕生しました。

舞踊部には舞踊アンサンブル《トリウムフ（勝利）》、舞踊デュエット《ポアント》が編成され、また、ソロの踊りも創作されています。音楽部には、声楽、ピアノ、民族楽器のクラスがあります。



## NPO法人ロシアとの友好・親善をすすめる会

第2次世界大戦後、シベリアに抑留され亡くなった方の慰霊の墓参と、シベリア出兵の時起きたイワノフカ事件への懺悔と追悼を通じ、友好と親善を進めている特定非営利活動法人（NPO）です。1919年シベリア出兵の際に起きたイワノフカ事件のあったイワノフカ村には、1995年イワノフカ村と全国抑留者補償協議会により日露共同追悼碑が建立されました。それ以降毎年、会員や希望者を募って墓参と交流を続けています。イワノフカ村の村長も十数年前から、若い世代の交流を切望されており、今年はいわノフカ事件 100 周年の節目ですので、会の事業としてイワノフカ少年少女アンサンブルの招聘を計画いたしました。